

日ごろから防災意識をもちましょう

市民の皆様には、日ごろから市政運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、東北地方の太平洋側を中心に甚大な被害が発生し、私たちに多くの教訓をもたらしました。

このような大震災がいつ起きても対処できるように、私たちは日ごろからしっかりとした防災意識を心掛け、対策を考えておく必要があります。

市民の安全を守るために、市では防災対策の充実に努めておりますが、安心・安全なまちづくりには、行政機関の活動だけでは決して十分とは言えません。

市民のみなさん一人ひとりが、防災意識を高く持ち、自分の身の安全を守るための行動をすることが防災の原点であります。

この「五所川原市津波ハザードマップ」は、災害に対する事前の備えや、予測不可能な災害による被害を最小限にとどめるための日ごろの心構えについて、イラストなどでわかりやすく説明してあります。

家庭内の目につくところに常備され、災害に備えるための資料として参考にいただければ幸いです。

平成 29 年 11 月

五所川原市長 平山 誠 敏

索引

索引	1	指定緊急避難場所一覧・情報の伝達経路・防災関係機関連絡先	7
地震対策	2		
津波対策(1)	3	非常時持出品の準備&チェック	8
津波対策(2)	4	わが家の「防災・緊急情報」メモ	9
津波対策(3)	5	津波ハザードマップ全体図	10
洪水ハザード情報について	6	津波ハザードマップ詳細図	11~22

発行：五所川原市（お問い合わせ先：総務課 0173-35-2111）
制作・著作：株式会社ゼンリン 青森営業所
作成：平成29年11月

「この成果品は、青森県が作成した測量成果を青森県知事の承認を得て使用したものである。（平成27年1月15日付け青林第879号）」

地震対策 地震発生！そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保（手近な座布団などで頭を保護）
- すぐに火を消せるときは火を消す
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意

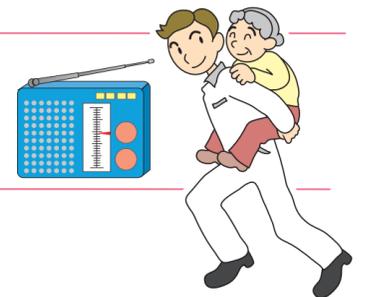


みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | |
|-------------|------------------------------------|------------------------|
| ●隣近所に声をかけよう | ●要配慮者の安全確保 | ●隣近所で助け合う |
| ●出火防止 初期消火 | ●行方不明者はいないか | ●ケガ人はいないか |
| | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める | |
| | ●消火器を使う | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる
- 災害・被害情報の収集
- デマにまどわされないように
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 救出・救護活動
- 無理な行動はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてず冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要などときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

